

# フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ

沖縄県石垣市

ランドスケープデザイン=株式会社稲治造園工務所

写真=黒住建築写真事務所(黒住直臣)、株式会社稲治造園工務所\*

資料提供=株式会社稲治造園工務所

## FUSAKI BEACH RESORT HOTEL&VILLAS

Ishigaki-city, Okinawa

Landscape by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.

Photos by Kurozumi Architectural Photo Studio [Naomi Kurozumi]

Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.\*

Materials provided by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.







## 愛の島 石垣

昨年2018年、石垣島はトリップアドバイザーの口コミで選ぶ、“人気急上昇観光都市ランキング”に於いて、ハワイを抜き世界No.1に輝き、今世界各国から注目を浴び、多くの旅行者が訪れる魅力溢れる場所となっています。

石垣島が愛される魅力は何と言っても、“真っ青な海”、“白い砂浜”、“ヤシの木陰”、“燦々と輝く太陽”です。夜の帳が下りる頃になると満天の夜空に多くの星が輝き、今では天文学者が選ぶ“日本一の星空”に選ばれています。また、石垣島の人達は大らかで笑顔に満ち溢れています。これも多くの方々好まれる魅力の一つかも知れません。

石垣島にはヤエヤマヤシをはじめとする多くのヤシやガジュマル、バショウ、プーゲンビリアやハイビスカス、ブルメリア、キャリアンドラなど、沢山の花々や美しい緑があります。その昔、私も子供たちを連れて南の島を訪れた際、はじめて見たハイビスカスに見とれ、そっと大事にしていたのですが、2〜3日経つにつれ、道に落ちていたハイビスカス

を平気で踏んづけて歩いていた事を今更ながら思い出します。それくらい花々で満ち溢れている島なのです。

この素晴らしい南の島に、真っ白なビーチ沿い延長1,000mに亘り新しくリノベーションされる“フサキビーチ リゾート&ヴィラズ”は、美しい花々と緑、そしてヤシの木陰を演出し計画しています。

樹木をはじめ主な資材は地産地消を原則に石垣島に植生している植物を使い計画されていますが、セントオーガスティンなど石垣島に無い物は一部沖縄本島や鹿児島から取り寄せ施工に当たっています。中でも目を引くのは北棟中庭エリアのメインツリー。テレビでよく見る「この木何の木、気になる木」で良く知られているモンキーポッドの大木がドーンと鎮座しています。この木は石垣島にテスト的に播種されていた物で、今回懇願し中庭の真ん中に植えられています。この木は浅根で根が粗く、植付けに当たっては通常の何倍も手間隙を掛け根回しを行っています。マメ科で半落葉はするが、ガジュマル



夜の帳を待ちわびるように咲くサガリバナは妖艶な一時を醸し出しています(写真=加賀みず佳)

やフクギ、テリハボクなどの緑の濃い樹木と違って葉が淡くて清々しく何とも美しい。また、水辺に植えられているサガリバナは沢山の蕾をつけ、夜を待つばかりに花を付け、水辺に揺ら揺らと漂う様は夏の日の一晩を髣髴とさせています。

一方、アレカヤシを贅沢に使い、涼やかな演出も行っています。アレカヤシは微風にも



シーサイドとプールの間には美しい花々とヤシの木陰。何とも言いえない寛ぎの一時を与えてくれます



入口のサインには魔よけのシーサーとストレリチアをはじめとする花々がお迎え\*



プールを見ながらの杯は旨い!!



ヒメノカリスは白く、また、香りが最高!!\*

そよぎ、色鮮やかな風景は暑さの増す沖縄でも爽やかなイメージを与えてくれ、低木類にはストレリチア(ゴクラクチョウカ)をはじめヒメノカリスやオオゴショウ、ハナショウジ、ホワイトジンジャー、レッドジンジャー、ブッソウゲ、タマシダ、セローム、ウナズキヘリコニアなど赤や白、色とりどりの花々が競い合う様は、何とも言葉では言い尽くせません。

今回このような作品にめぐり会えた事に関し、事業主 フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン及び、株式会社安井建築設計事務所、株式会社フジタ、石垣市、また、施工にご尽力頂いた、有限会社やまと庭樹園、仲田園芸、他、多くの方々に深くお礼を申し上げます。

文=林 義信(林稲治造園工務所)



ノースウイング中庭のシンボルツリー・モンキーポッドは南の島石垣島でも大きく枝葉を伸ばすことでしょう



フクギ並木のセンターに沈む夕日は最高に美しい\*



稀少価値のオウゴンガジュマルは車で来られるお客様をお迎えしています\*

### ガジュマル

ガジュマルは、“幸せになる木”、“エネルギーをプラスにする木”と言われており、古くからガジュマルに棲む妖精(キジムナー)の宿る木とも言われ大切にされています。いたずら好きで真っ赤な髪の毛をした子供を見かけたらキジムナーかも知れません。

### デイゴ

沖縄と言えば何と言っても“デイゴ”。深紅色で燃え立つような花は多くの人々に愛されています。昨今はデイゴヒメコバチの害により花が咲かないデイゴも多く、県では宮古島にて試験を行っています。樹幹注入が効果的とされていますが、花の咲かないガジュマルはチョット寂しい。私は調査中に刺され痛い思いをしました。

### フクギ

フクギ(福木)字の通り“福を呼ぶ木”と言われており、沖縄では多く使われています。潮風に強く防風防潮林に適しています。ここフサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズではフクギの並木を再現し、丁度まん中に太陽が沈むサンセットビューはカップルのベストポイントとなっています。

### モンキーポッド

「この木なんの木・・・」の木です。

偶然石垣で試験的に植えられている物を見付け、日参の上譲って頂いた物です。根が浅く根数も少ない為、発根促進剤・殺菌剤・癒合剤・堆肥・液肥など多岐に亘る方策を講じ1年を掛け根回し作業を行った上、赤ちゃんをいたわる様に、移植を行いました。ノースウイング中庭のシンボルツリーとして鎮座しています。

文=林 義信(株稲造造園工務所)



デイゴの根回し状況

## モンキーポッドの根回し作業



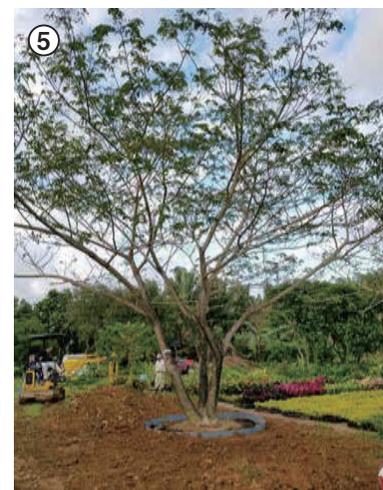
① 根鉢を想定し、根の形成層を剥ぎ取る。雑菌におかされ無い様、殺菌された鋭利な刃物を使用し繊細な部分まで表皮を取り除く。これらの作業によって根の形成層より毛根が再生される。

② 黒い部分は過去故損した部分(木質層)が見受けられた。これは将来に問題が生じるものではないが、出来る限り除去し殺菌剤を塗布し処理を行った。また、発根を促すため、オキシペロン(発根促進剤)を噴霧している。

③ 発根促進剤を処理した部分に殺菌剤を塗布し、土中の雑菌におかされること無く速やかに発根を促す作業を行っている。

④ 発根促進剤や殺菌剤塗布を施された根にバーク堆肥を巻き込み、一層の発根を促す。

⑤ 剥皮→発根促進剤噴霧→殺菌剤塗布が行われた根をバーク堆肥で覆い、より一層の発根を促す。移植まで約3ヶ月と通常より短い期間ではあるが、石垣の温暖さと春季の発芽時期、地中温度の上昇を踏まえ発根の状況を見守る。



このページの写真提供=株稲造造園工務所



プールの周りには多くのヤシや美しい花々が満ち溢れています

全体施設の基本コンセプトは「Ishigaki Resort Modern」—石垣らしさのある、洗練されたリゾート— これは、Resortの中にIshigakiの「素材」や「文化」を散りばめるデザインを意味している。その中でも「Resort」の部分では、「水」にイメージを絞り、水盤や水路、滝を用意して、水の優しさや音、きらめき感などをつくり出している。

メインの車寄せには、スンマチャー(神の宿る木ガジュマル)と外部からの悪い木の流入を防ぐと言われている伝統的なヒンブンという壁を設置している。ヒンブンは各施設の入り口にも配置されている。その裏には水盤を配置して水の光と音でお客様にリゾートを感じてもらおう。そして海岸、プールからエントランスのあるセントラルガーデンの動線上

には滝のある水盤。客室のあるノースウィングは中庭を囲むように水路を配置している。

植栽の全体計画は色とりどりの花々を施設全体に配することでお客様に楽しんでいただくとともに、それらの南国の植物とアンジュレーションのある芝生で構成し、海と砂浜とのコントラストもデザイン要素としている。

文=森 大介 (株式会社建築設計事務所 設計部主幹)

ライティングされた樹木は昼とは異なる趣きを見せてくれます



移植されたガジュマルはさも、前からここに在ったように植わっている



ノースウイング中庭は子供たちが芝生の上を走り回れるように設え、  
水景に映る木々は得も言えぬ一時を与えてくれます









アクアガーデン



### 進化するリゾートデスティネーション 「石垣島」の魅力

弊社は島内で最も美しいとされるサンセットを目前に眺めることができる、最西端のフサキビーチに沿って全333室からなるフサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズを保有し、現在も継続的に増改修を重ねています。南北に拡張した全長1kmの敷地には防風林と植栽の深緑に囲まれた赤瓦のコテージが空の青との対照的なコントラストで佇んで、季節の花が咲き乱れるガーデンウォー

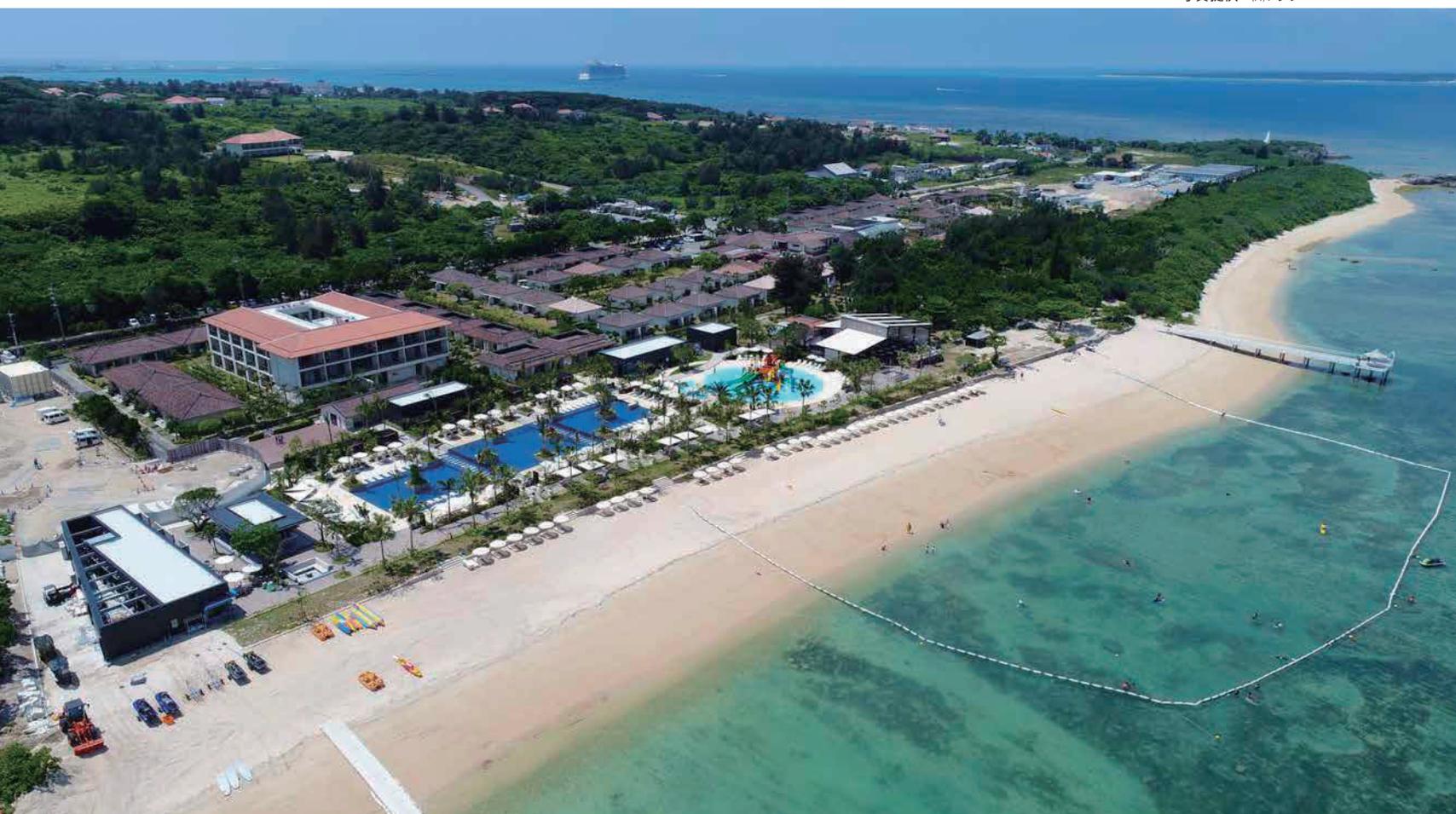
クは有機的なフォルムの木々が南国の四季を演出しています。この海との距離が近く、緑に囲まれた低密度な「ガーデン・ビレッジ」が開業当初からのフサキリゾートのコンセプトであり、今後の計画の基軸となっております。

昨夏にはアクアガーデンと呼ばれる島内初となる多機能ウォータースライダーとインフィニティプール、サンセットバーやマリンステーションといった「海」を軸にしたビーチフロントが開業しました。落ち着いた雰囲気

と多様な文化的背景をもつ石垣ならではのビーチリゾートとして、ファミリーバケーションから都会を離れてゆったり過ごすリラクゼーション体験まで、幅広いゲストエクスペリエンスを提供していきます。美しい海岸線を臨むシースケープと南国情緒溢れる植栽を活かしたランドスケープの融合によって、この最高のロケーションを最大限に活かしたホテルを創造していきたいと考えています。

文＝山本俊祐（フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン マネージングディレクター）

写真提供＝㈱フジタ



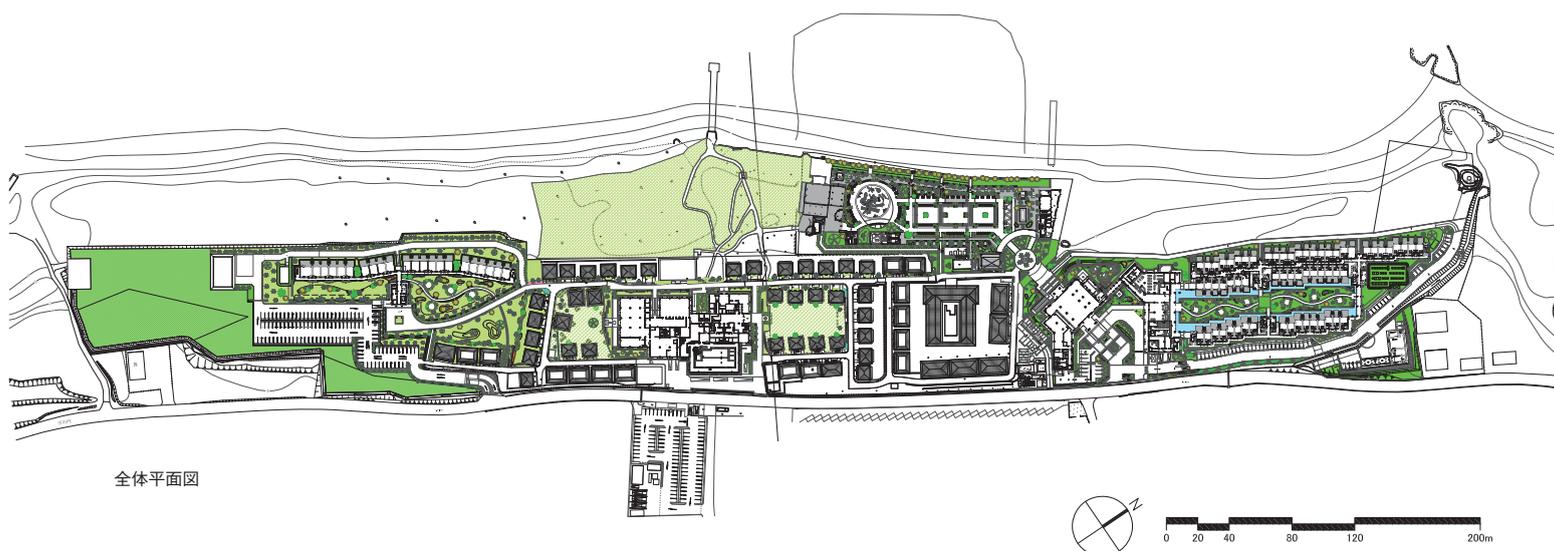
2013年3月の新石垣空港(南ぬ島石垣空港)の開港以来、石垣島を中心とした八重山地域の観光は好調を維持しています。開港前も国内を中心に年間70万人近くの観光客が訪れていた島は、本土の大都市圏からの直行便や海外からのクルーズ船が増え、昨年の観光入域客数は約138万人にまで上っています。その内訳は国内の空路が約104万人、海外からのクルーズ船が約30万人、香港・台湾の空路で4万人強となっています。私たちが地域経済の柱として観光を考えると、やはり宿泊客数と宿泊日数をどのように延ばしていくかが大きな課題となってきます。その中においてフサキビーチリゾートさんは、市街地からも近く景観の優れた富崎野の地で、琉球赤瓦と白

壁のコテージ、鮮やかな花と緑、明るい太陽と広い空、白い砂浜と碧い海など石垣島の暮らしに出会う場所として多くの観光客を迎え真心のこもったおもてなしをいただいております。昨年の6月には石垣島の最高のサンセットを望みながらくつろぐことの出来る「アクアガーデン」をオープンし、本年1月にはbuffetレストランやショップを併設した「セントラルヴィレッジ」を新たにオープンされました。時代の変化やお客様のニーズに的確に応える姿勢はまさにこれからの石垣島の観光が目指すところと一致しています。また、それぞれの施設建設に当たっては石垣市の景観条例にご理解をいただき島の風景に溶け込んだ建築にご協力をいただきました。

さて、2020年に「東京オリンピック・パラリンピック」の開催をひかえ、今後も国内外からの観光客の増加が予想されるところです。石垣島を訪れる皆様のご満足いただけるよう、本市としましても、魅力である自然環境や独自の文化を持続的な観光資源として大切に、量から質への転換も視野に入れた受入環境整備や受入体制強化が重要であると認識しております。

今後とも本市のリーディング産業としての観光・リゾート産業の振興と持続発展並びに観光の役割である観光交流人口の誘致による経済市場規模の拡大に花と緑あふれる場を賜りますようお願い申し上げます。

文＝中山義隆(石垣市長)



全体平面図



\*

### フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ

所在地	沖縄県石垣市新川 1625
用途	リゾートホテル
事業主	フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン
建築	設計/株式会社安井建築設計事務所(森 大介) 施工/株式会社フジタ
ランドスケープ	株式会社稲治造園事務所(デザイン/林 義信、 設計/西山智子、施工/安達裕樹、松下 洸)
植栽	(有)やまと庭樹園、(有)西原農園、(株)紅樹 材料/仲田園芸、塩浜園芸
照明デザイン	(有)内原智史デザイン事務所
灌漑システム	株式会社ノーユー
土壌改良	株式会社インターファーム
工期	2017年10月～2020年7月31日(予定)
規模	芝生/12,500㎡、造成森林/7,800㎡
仕様	植栽数量/高木:1,450本、中木:850本 低木:3,250㎡